

## Criteo、2019年第2四半期の業績を発表

2019年度見通し通りの成長を維持、8,000万ドルの自己株式取得プログラムを発表

インターネット上のオープンな広告プラットフォームを提供する Criteo（クリテオ、本社：フランス、NASDAQ：CRTO）は、2019年6月30日を末日とする2019年第2四半期の決算を発表しました。

### ■2019年第2四半期 業績ハイライト

- 売上高は前年同期比2%減（為替変動の影響を除くと1%増<sup>1</sup>）の5億2,800万ドルでした。
- トラフィック獲得コスト（TAC）を除く実質売上高<sup>2</sup>は前年同期比3%減（為替変動の影響を除くと0.3%増）の2億2,400万ドルとなり（第2四半期の想定為替レートでは2億2,500万ドル）、対売上高比率は42%でした。
- 純利益は前年同期比15%減の1,300万ドルでした。
- 調整後 EBITDA<sup>2</sup>は前年同期比18%（為替変動の影響を除くと16%）減の5,600万ドルであり、TACを除く実質売上高に対する比率は25%でした。
- 営業活動によるキャッシュフローは前年同期比31%増の5,300万ドルでした。
- フリー・キャッシュフロー<sup>2</sup>は2,000万ドルに達し、キャッシュポジションは4億2,200万ドルに増加しました。
- 希薄化後1株当たり調整純利益<sup>2</sup>は0.47ドルでした。
- 2019年度のTACを除く実質売上高と調整後 EBITDA マージンは見通し通りに維持しています。
- 米国預託株式において最大8,000万ドル相当の自己株式を取得するプログラムが当社取締役会により承認されました。

### ■エグゼクティブのコメント

Criteo のCEO（最高経営責任者）であるJB・リュデルは、「市場が厳しい状況に置かれる中、当社は変革に取り組み、第2四半期には重要なマイルストーンを達成することができました。我々の計画の戦略的方向性および計画を実行に移す能力について、満足しています」と述べています。

また、CFO（最高財務責任者）のブノワ・フオンは、「2019年度の見通しどおりに高水準の売上と利益率を維持しております。長期的に堅調な収益性を形成すべく、しっかりと取り組んでまいります」と述べています。

### ■2019年第1四半期 ビジネスハイライト

- リターゲティング以外の全ての新たなソリューションにおける TAC を除く実質売上高は、全事業の10%を占め、前年同期比61%増となりました。
- 第2四半期は360社の新規顧客を獲得し、2018年第2四半期以来の最高水準となりました。顧客維持率は全ソリューションにおいて90%近い水準を維持しました。
- モバイルアプリ内広告事業は TAC を除く実質売上高が前年同期比21%増となりました。



- 既存クライアントの売上<sup>3</sup>は為替変動の影響を除くと前年同期比 1.9%減、TAC を除く実質売上高<sup>3</sup>は、為替変動の影響を除くと前年同期比 2.9%減となりました。
- 当社のヘッダー入札技術である Criteo Direct Bidder（クリテオ・ダイレクト・ビッド）は、3,800 社を超えるパブリッシャーと 200 のアプリ・デベロッパーに連携し、質のいい広告在庫へのダイレクトなアクセスを提供しています。
- アメリカ、イギリス、オーストラリアで中小企業向けにセルフ登録機能の提供を開始しました。
- 効果的な手段を講じ、社員の離職率を改善しました。

<sup>1</sup> 為替変動の影響を除くベースでの増加率は、2018 年の該当期間の平均為替レートを 2019 年の数値に適用して算出しています。

<sup>2</sup> TAC を除いた実質売上高、調整後 EBITDA、希薄化後 1 株当たり調整純利益およびフリー・キャッシュフローは、米国一般会計原則（GAAP）に従って計算された指標ではありません。

<sup>3</sup> 既存クライアントの売上および TAC を除く実質売上高は、前年同四半期に当社と取引があり、その翌年の同四半期も当社と取引が続いているクライアントによる売上または TAC を除く実質売上高です。

※本資料は、Criteo より 2019 年 7 月 31 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

※本リリースの全文は英文資料をご参照ください。

###

#### ■ Criteo（クリテオ）について ■

Criteo（NASDAQ：CRTO）は、オープンで透明性のあるインターネット上の広告プラットフォームを提供しています。2,800 名以上の Criteo チームメンバーは、世界 19,000 社の広告主と、数千のパブリッシャーと連携して得られる膨大なデータを、機械学習を用いて精密に分析することで、全ての広告チャネルを通じた効率的な広告配信を実現します。Criteo はテクノロジーを通じて、あらゆる規模の広告主に対し、ユーザが本当に求めているものに出会える仕組みを提供します。www.criteo.com/jp/

※CRITEO 株式会社はその日本法人です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係者】

Criteo 株式会社 PR 事務局（フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社内）中山

Tel：03-6204-4301 Fax：03-6204-4302 E-mail：[criteo-pr@fleishman.com](mailto:criteo-pr@fleishman.com)